

少年の非行防止と健全育成を図るため、学習支援、スポーツ活動、農業体験などを通じた立ち直り支援活動等を行います。

少年の立ち直り・
健全育成を支援する

「大学生ボランティア」の活動内容



少年の立ち直り・健全育成 大学生ボランティアとは？

警察では、少年の非行防止と健全育成を図るため、関係機関・団体、地域社会と連携して、学習支援や各種体験活動などによる立ち直り支援を行っています。特に大学生ボランティアは、少年と年齢が近く、これらの活動を通じて信頼関係が構築され、少年の立ち直りに重要な役割を果たしています。

学習支援



不登校などで遅れてしまった勉強や、これから受験を控えている少年たちの勉強をサポートします。

スポーツ活動



チームワークを必要とするスポーツを通じて、少年たちと共に汗を流し絆を深めます。

農業体験



日常では経験できない農業を協力して行うことで、少年たちとのコミュニケーションを図ります。

料理体験



少年たちと一緒に料理をすることで、やりがいや達成感を得ます。

社会奉仕活動



少年たちと共に、落書き消しや清掃活動など、身近でできる活動を行います。

非行防止活動



学校などで、少年たちの規範意識を育むための活動を行います。

街頭補導活動



繁華街などにおいて、少年たちに対して声をかけ、指導・助言を行います。

広報啓発活動



街頭でのキャンペーンなどを通じて、少年非行・被害の防止に協力を呼びかける活動を行います。

●この他にも、全国でさまざまな活動を行っています。



さまざまな体験活動を通じて、少年たちとのコミュニケーションが増え、少年たちにとって心のよりどころとなる居場所づくりの大切さを実感しました。

最初は少年たちとコミュニケーションをとるのが難しいのではないかと不安に思っていたのですが、次第に笑顔でコミュニケーションをとりながら活動を楽しむことができました。



自分の特技や大学の専攻を生かしながら活動できる場所がこのボランティアの面白さだと感じています。

大学生ボランティアの 声

実際に活動されている
大学生ボランティアの皆さんの
声を紹介します。

一つ一つのボランティア活動の意義や自分の立場と少年との関わりをしっかりと意識して活動することで、少ない回数でも豊かな経験ができます。

少年たちと年齢が近いことを生かし、自分が子供時代に何を考え、大人に何を期待していたか当時のことを思い出しながら活動しています。

※平成29年度「全国少年警察学生ボランティア研修会」発表より



少年たちと共に
自分も大きく
成長できる

私は、大学で子供を対象としたボランティア活動をしたり、アルバイトで塾の講師をしたりするなど、とにかく子供が好きです。大学でのボランティア活動とは別に、私の住んでいる地元の子供たちのために何かしたいと思ったことがきっかけで、この活動に参加しました。学習支援で、中学3年の女子生徒を担当しましたが、最初は全く目を合わせようとはしませんでした。彼女に「この人だったら話を聞いてくれる」という安心感を持ってもらうため、当たり前のことかも知れませんが、傾きながら、目を見ながら話を聞くことを心掛けました。また、彼女から「絵を描くことが好き」と聞いたので、

勉強だけではなく、絵しりとりなどの遊びを取り入れたりもしました。

5か月が過ぎた頃、彼女は自分から家庭や進路の悩みについて話をしてくれるようになり、そのような彼女の変化に大変嬉しく思いました。少年サポートセンターの方からも「学習支援が始まってから彼女の表情が変わった。とても明るくなって将来像が描けるようになった」と感謝されました。

彼女への学習支援を通じて、3つのことに気がきました。一つ目は、人との関わりを避けているように見える子供でも、本当は関わりを求めていること。二つ目は、何がきっかけで、子供は変化すること。三つ目は、困ったり悩んだりしているときこそ思いを聞いて、一緒に伴走する人が必要だということです。

とても貴重な経験ができ、少年警察ボランティアをしてよかったと思っています。

※平成29年度「全国少年警察学生ボランティア研修会」発表より

